

OMC事務局 〒560-0085 豊中市上新田4-16-1-33 合原 一夫 TEL06-6833-9227
 広報編集局 〒573-1171 枚方市三栗1-18-20 前田 茂夫 TEL072-850-5781
<http://www.ne.jp/asahi/smaeda/12/>

平成19年3月 ²⁰⁰⁷(~~2006~~)年 No.495

今年の撮影会は 5月3、4日垂井曳山祭

OMC恒例の一泊撮影会は、今年は岐阜県垂井町の「垂井曳山祭」で計画を進めています。進藤さんのお骨折りでネットによる調査と垂井町隣町の大垣にお住まいの知人による情報提供を受け、このほど進藤、関、合原の3名でロケハンに行ってきました。祭り当時の状況などパンフレットを頂きながら町の観光課の方に話を伺ったり、宿場町の様子など歩きながら見てまわりました。そして、祭りの責任者という方にお会いして、祭り行事のことなどを伺いました。子供歌舞伎が各町内から3台の曳山で行われるそうで、その子供さんのおけいこが3月末から4月にかけて行われるが、その様子を撮影したい場合はどうぞと、という許可を得ました。狭い公民館の中ですので一度に大勢のカメラマンは無理なので代表撮影という形で撮影会本番前に撮影を行ってこようと思っております。ぜひ練習風景も自分のカメラで撮影したいと思われる方は、どうぞ関世話役まで申し出て下さい。

撮影会要領

- 開催日：平成19年5月3日～4日（両日共祭日）
：集合場所、時間等は別途ご案内（JR利用）
- 行き先：岐阜県垂井町（JR垂井町下車）（大垣市の一つ手前の駅）
- 撮影対象：垂水曳山祭（子供歌舞伎）、宿場町、川にかかる鯉のぼり
- 宿泊：大垣駅前にある「アパホテル大垣駅前」
：ツインは満席でしたので全てシングルルームを20室予約。
- 参加費：15,000円（交通費、初日の弁当代は各自負担）

3月例会のお知らせ

3月例会は第4土曜日24日午後6時より難波市民学習センターにて行います。この間まで暖冬でしたが、この数日寒さがぶり返した様ですが例会頃は桜のま近でしょう。どうぞ作品を持って例会へお越し下さい。今月も楽しいひとときをすごしましょう。

※曳山の文字は「曳^車」が正しいです。

公開映写会情報

■OVCビデオフェスティバル

- ・開催日 平成19年4月21日(土)
12時30分開場、13時上映
- ・場所 大阪市立中央会館(地下鉄長堀橋下車、徒歩5分)
- ・当 OMC 会員さんの発表作品(敬称略)
合原(文明村)、紙本(赤い鉄橋)、黒田(煌彩大和寺)、河合(灼熱の沙城)、安居(Z0021 計画)、西村(カトマンズの庶民の町で)、奥(宮入)、吉岡(早生桃の里)、藤原(帆船に思いを馳せて)、関(ナイヤガラ)、有村(新緑の裏磐梯)以上11作。ぜひ行って下さい。

■秦峰一会員より便り

このところ例会ご欠席だった秦さんより便りがありました。現在病気療養中で、今年には休会にしたい由、体調ととのい次第復会しますとのことでした。自宅での編集はなさっているとの事、祈ご全快。

全国規模の

ビデオコンテスト・募集情報

■第41回東京アマチュア映像祭

ビデオコンテスト作品募集

- ・応募締切 平成19年6月末日
- ・上映時間 10分以内、テーマは自由
- ・DV、VHS、SVHSに限る
- ・参加料 1,500円
- ・送付 169-0075 東京都新宿区高田馬場
1-33-15 タンタマンション館内
東京アマチュア映像連盟事務局

■第22回国民文化祭TOKUSIMA'07

- ・応募受付期間 6月1日から8月31日
- ・上映時間 5分以内 テーマは自由
応募票必要の方は会長迄ご連絡下さい。

コンテスト受賞

おめでとうございます

・丹波篠山ビデオ大賞コンテスト

篠山市議会議長賞

「挑む」 安居利次氏

全国のベテラン映像作家が応募するようになって、年々に入賞が難しくなっていると云われる丹波篠山コンで見事入賞、拍手!

- ・Impress社主催 ビデオコンテスト

ビギナーズブラックの部門

入賞「エーゲ海クルーズ」井上勝彦氏

この作品は2月例会で上映されましたが1分という長さの制約の中で高度の編集テクニックを駆使して旅を表現されています。おめでとうございます。

■新入会員のご紹介

天草 稔さん 〒599-8261

堺市中区堀上町270-7

電話 072-279-4601

よろしく願いいたします。

2月例会のレポート

今月は暖冬とかで、雪をアテにした北国は何かと大変みたいでしたが、今日はやや冷え込んでいて冬着もまだ手放せない様です。ぶり返しの寒さのせいもあってか、いつもより若干少ない出席者24名と作品数15本でした。作品進行上からはこの位の作品数が丁度よいところです。新入会員の天草さんが、ご挨拶代わりに早速、作品を持参して披露されました。落ちついた撮影ぶりで、可也の腕前ではないかと、今後は楽しみです。

今月の司会は有村氏、書記、岡本氏、デッキ係は江村、増池の両氏、受付、渡辺氏と宮崎さんの担当で進行しました。

■出席者：有村、江村、岡本、奥、紙本、黒田、合原、進藤、関、錦、西村、華岡、藤原、前田、増池、宮崎、森口、森、森下、安居、山本、吉岡、渡辺、天草(新入会員)の24氏(敬称略)。

■上映

1. 今井町

増池 茂さん 6分30秒

奈良県橿原市今井町は、江戸時代以来の民家群と町並みが、重要伝統的建造群保存地区として今に伝えています。作者は、この伝統的な様式をもつ町並みを取材され作品です。東西に600メートル、南北に310メートルという規模を丹念に撮られました。狭い道の両側にびっしりと、江戸時代以来の町屋や長屋が連なっています。

ところが、映像はしっかりと撮られているのですが、BGMだけで構成されているので何か物足りなさを感じます。初めて見

るものにとっては、今井町はどの辺に位置するのか、町の起源などの説明がほしいところです。テロップか、ナレーションがほしいと司会者からも注文がでました。

それにしても、よくこんなに江戸時代の様子を伝える家並みが残ったものと感動しました。

2. 田園紀行

山本正夢さん 7分00秒

この作品は、南インドの農村地帯を取材されたものです。農作業をする農民の様子を克明にとらえられました。男たちがヤシの実の繊維から家具のクッション材をつくるシーンや、それを棒で叩いてほぐす女性の姿が映っています。また、ヤシの葉から建築材をつくる人々、食材にするのでしょうか湖で漁をする様子などが克明に映し出されます。我が国では考えられない人々の暮らしぶりを拝見させていただきました。朝夕の逆光や反逆光をうまく使い分けたいな映像ですが、BGMがアベマリアでは違和感があるとの司会者の意見でした。

3. 羅漢寺 (W)

紙本 勝さん 5分00秒

お年の割にまあ、いろんな所に出掛けられてカメラに収めてこられる作者の心意気に感服します。今回は大分県中津市本耶馬溪町の羅漢寺を訪ねられた作品です。

この寺は、全国羅漢寺の総本山で由緒ある寺だそうです。羅漢山の中腹にあり、岸壁には無数の洞窟があり、その洞窟には、3700体以上もの石仏が安置されているそうです。なかでも室町期に普覚禅寺（ふかくぜんじ）という高僧が刻んだという千体地蔵の喜怒哀楽の表情をとらえています。いつもはナレーションをいられる作者、この作品はノンナレのため上記の説明がありません。羅漢だけをテーマとした作品とするならば少しものたりなさを感じます。でも洞窟の中をよく撮られました。

4. 松花堂庭園 (W)

宮崎紀代子さん 4分40秒

京都府指定文化財でもある洛南随一のこの庭園を訪れた作品。寛永時代に松花堂昭乗が里坊の一隅に建てた小方丈を松花堂といわれる。庭園は、約22000平方メー

トルと広く、内庭と外庭に別れていて、内庭は撮影は禁止だそうです。外庭を撮影されたもの。しっとりした庭園に、茶室や女郎塚などが映されています。ちなみに「松花堂弁当」は松花堂昭乗が愛用の小物入れの箱から発案されたと言われているそうです。テロップだけなのでナレーションの説明がほしいような気がします。

HC3で撮影されたようですので次回からはハイビジョン編集期待しています。

5. 秋・神護寺 (W)

森口吉正さん 8分30秒

昨秋に洛北の紅葉の名所、高雄山・神護寺を訪ねられた作品。紅葉シーズンとあってもみじの美しさと流暢なナレーションにまずはうっとり。やはりナレーションをいれることによって映像が盛り上がります。構成もなかなかうまく楽しく拝見しました。

6. あびこ観音節分会 (HDV)

奥 宏さん 7分34秒

住吉のあびこ観音、昨年につづいて今年も挑戦されました。今年の作品は、全編、人、人、人、顔、顔、顔、大勢の中でよくカメラを向けられました。相手の方がカメラを意識してないところが撮影のうまさでしょうか。よほど人気のある観音さんですね。ところが、すべてノンテロップ、ノンナレで見せますが、やはり何らかの説明がほしいですと司会者の意見もありました。見る人によっては場所すら知らない人がおられますので親切さがほしいと思います。

節分にしては鬼もいない豆まきもない観音さんを見せていただきました。

7. 今宮戎神社・十日戎 (HDV)

天草 稔さん 5分18秒

今月初入会で作品持参されました。某テレビ局のビデオ教室で勉強されたようで落ち着いたカットで見せます。道頓堀から今宮戎までの宝恵かご行列からはじまります。大勢の人込みの中でよく側で撮られました。通行人などは前作の作者と違って少し遠慮されたカットになりました。それと行列からいきなり神社のカットになります。その辺のつながりがほしいと司会者から助言がありました。これからも上達されて

すばらしい作品を期待しています。

8. カトマンズの庶民の町で (HDV)

西村光雄さん 9分40秒

作者はよくネパールを訪れています。今回は9回目位だそうです。奥さんを同伴されての旅行です。三脚はほとんどつかわないでズームがどのくらい気になるかみてほしいということでしたがあまり気になりませんでした。まずはカメラはネパールの首都カトマンズの街から入っていきます。活気のある商店街が映し出されています。そして庶民の街タメルへと移動します。そこでの商店主と奥さんの値段交渉を楽しく拝見しました。

どうしてネパールが好きなのですかとの司会者の質問に作者は「住もうとは思わないが癒される」というお答えでした。

9. 季節は巡る裏磐梯 (HDV)

有村 博さん 12分53秒

作者は本当に山が好きなのでしょう。昨年、2月、5月、10月と3回ここを訪ねて作品にされました。春夏秋冬の裏磐梯を克明に撮られました。場所ごとの季節の移り変わりで構成されていますが、これも一つの手法なのでしょう。私は、全体で春夏秋冬に構成された方がよいような気がします。でも絵面が大変すばらしいので、ノンナレでも充分堪能させていただきました。

10. 怒濤・余部 (HDV)

前田茂夫 9分4秒

余部を撮り続けている作者、今年の1月初旬、写友の江村氏と誘い合わせて雪の余部を撮るべく出掛けられた。ところが暖冬で大雪にはめぐりあえなかったが、荒天に遭遇、列車は運休、カメラの三脚は風でふきとばされそうな状況の中での撮影。そこで生まれたのが上記のタイトル、怒濤渦巻く日本海の荒波、波の轟音すごい迫力です。一夜明けてやっと鉄橋を渡る列車の汽笛にほっと心が和んだことだろう。それでも雪まじりの雨の中、傘さして正月のしめ飾りのとんとする住民の姿が印象的でした。

11. 怒濤・余部 (HDV)

江村一郎 7分45秒

この作品も、前田作品と同じ条件下での撮影。同じタイトルで作ろうと二人で示し

合わせてできたもの。タイトルの怒濤と怒濤がちがうだけです。迫力も満点です。ところでこの作品、全編BGMが太鼓と三味線の音色がサポートします。波の音を一層盛り上げました。どちらにしても両作品みごとに仕上がりました。カメラが塩水をかぶって故障しなかったか心配しました。

12. 16年ぶり大阪市営地下鉄開業

(HDV) 安居利次 8分20秒

昨年の12月24日に開通した、大阪市営地下鉄、今里筋線を取材された作品。この線は、大阪の東部、井高野と今里を約24、5分で結ぶ線です。まずは、井高野のに住む、我がクラブの会員である紙本さんを訪ねるところから始まります。なかなかよく調べて作られました。

13. 今年のえと・いのしし神社 (HDV)

進藤信男さん 8分52秒

まあいろいろな神社があるものですね。京都市上京区にある「いのしし神社」を訪ねた作品。今年は亥年ということで注目を集めている神社です。よく調べてつくられました。ちなみに私も亥年なので興味深く拝見しました。

14. エーゲ海クルーズ (HDV)

井上勝彦 1分

この作品は、昨年6月に購入したHDVカメラで、7月の旅で初めて撮影されたもので、8月に買ったばかりのプレミアプロで編集されました。あるコンテストで制限1分というのに応募されて入選された作品だそうです。素材テープ4本を4分割などを使って1分に編集に苦労されたそうです。

15. なんだか歪なモダイクの構図 (HDV)

関剛さん 3分10秒

カナダのトロント博物館にあるモダイク壁画を撮影されたのを素材に海外及び国内の過去から現代の著名人の顔写真を入れ替えてパロディ風に作った作品。なぜか最後に東国原宮崎県知事の顔も。ちなみにBGMは軍隊行進曲。見た方はどう思われましたか。

以上で例会を終え、いつものように喫茶組と居酒屋組とに別れて二次会を楽しみました。